

**第 4 回北杜市総合計画審議会
会 議 録**

北杜市企画部企画課

第4回北杜市総合計画審議会 会議録

1. 会議名：第4回北杜市総合計画審議会
2. 開催日時：平成28年5月12日（木）午後1時30分～3時00分
3. 開催場所：北杜市役所北館3階大会議室
4. 会議次第：
 - (1) 開会
 - (2) 会長あいさつ
 - (3) 審議
 - ①第2次北杜市総合計画基本構想（案）について
 - ②その他
 - (4) 閉会
5. 出席者
 - (1) 出席委員
秋山九一、栗澤和江、岩間勇樹、小川昭二、菊見美房、輿水順彦、坂本榮富、櫻井八州彦、清水美佐、鈴木今朝和、高見沢肇（※）、茅野光一郎、馬場君忠、日向三郎、日向勝、舩木良、宮澤陽子、矢野望、山田輝夫
（※）校長会の輿水哲男氏の退職に伴い、高根東小学校の高見澤肇校長が平成28年4月1日付で審議会委員に委嘱。
 - (2) 欠席委員
齊藤けさ子、清水真理子、入戸野一明、日野水丈士、溝口暁美
 - (3) 事務局
菊原企画部長、小松企画課長、輿水企画課長補佐、企画担当 白倉、城戸
 - (4) 北杜市
総務部長、市民部長、福祉部長、生活環境部長、産業観光部長、建設部長、議会事務局、教育局長、監査委員事務局長、農業委員会事務局長、会計管理者、明野総合支所長、須玉総合支所長、高根総合支所長、長坂総合支所長、大泉総合支所長、小淵沢総合支所長、白州総合支所長、武川総合支所長、総務部次長、産業観光部次長、政策秘書課長、財政課長
6. 公開・非公開の別：公開

7. 傍聴人の数：1名

8. 議事録署名委員：坂本榮富、櫻井八州彦

会 議

1. 開会

(事務局 小松企画課長)

2. 会長あいさつ

3. 議事

これより、北杜市総合計画審議会条例第7条の規定により、会長が議長となり次の通り議事を進行する。

■①第2次北杜市総合計画基本構想（案）について

【事務局】

基本構想案の23ページ「(2)PDCAサイクルによる進行管理」に記載があるとおり、事務事業評価により指標、数値目標を設定して進行管理を現在進めている。このため、2ページ「(2)基本計画」の文章中にある「計画年度や適切な指標、数値目標を設定します。」の部分の削除をお願いしたい。

本日の審議の進め方について、「審議のチェックポイント」を事前に郵送させていただいている。審議はこれに基づいて行いたい。

【会長】

事務局一部修正案について意見はあるか。

【委員一同】

異議なし。

【会長】

一部修正のうえ、審議を進めていきたい。

<全体を通して>

特に意見なし。

<第1章 総合計画策定にあたって>

【委員】

1 ページ「2. 基本的な考え方」について、第1次総合計画から変化している点をもう少し具体的に記載したらどうか。

【事務局】

基本的には第1次総合計画を踏襲することとしているが、例えば、合併後の市のあり方について、前回の計画においては「8つの地域それぞれが持つポテンシャルを高めながら」と記載している。この部分については、8つの柱の特色を高めていく方向で継続していきたい。一方、第2次総合計画には時代の変化を反映させた新しい内容も盛り込んでいる。14～15 ページ「1. まちづくりの基本方針」では、「(5) 協働・連携による地域自治の確立」を新たに追加した。なお、(1)～(4)については前回の計画を踏襲しているが、時代の流れを踏まえて、新たな施策や取組みについて記載されている。

<第2章 市の概要>

特に意見なし。

<第3章 市を取りまく課題>

特に意見なし。

【事務局】

新たな課題として追加した部分を補足説明する。12 ページ「3. 安全・安心に対する意識の高まり」は、東日本大震災以降の防災意識の高まりを受けて追加した。また、13 ページ「6. 社会資本の老朽化」は、合併から10年が経過しており、北杜市でも対応していく必要があるため新たな課題として追加した。

<第4章 市の基本方針>

【委員】

20 ページ「1. 8つの柱づくり」の一番目に「教育・文化に輝く柱づくり」があるが、本章では教育に関する言及が少ない。15 ページ「(4) 文化・芸術の振興と次世代への継承」のタイトルに「教育と」という文言を追加し、「教育と文化・芸術の振興と…」とできないか。

【事務局】

いただいた意見は市の本部会議で審議し、検討させていただく。

【委員】

14 ページ「(1) 効率的・効果的な行財政の推進による健全かつ持続可能な市政運営の実現」の、「今後は、より効率的・効果的な行財政を推進することにより、さらなる健全化を図り、持続可能な市政運営を目指します。」という文章に関して、さらっと述べている印象を受ける。この部分は非常に重要な部分であるため、もう少し重みを付けて記載すべきではないか。

【委員】

人口減少と少子高齢化は重要な問題である。なぜ人口減少がおきるかと言うと、若者が就職で都会に流出しているからである。教育との関係もあるが、若者が地域に残るような取り組みをしないと人口減少は止まらない。その点に関する文言もどこかに入れたほうが良いのではないか。

【事務局】

若者の流出防止に関しては、15 ページ「(4) 文化・芸術の振興と次世代への継承」で、「故郷に対する自信と誇りを持つ」という文言で一部触れている。具体的に実施する事業については、今後、基本計画を策定するなかで組み立てていくが、基本構想では大きな方向性を理解していただければ良いと思う。本日いただいた意見は市の本部会議で審議し、検討させていただく。

【委員】

(4) のタイトルに「教育」を追加するのであれば、本文の文言修正が必要となる。その点も考慮していただきたい。

【委員】

14 ページ「(2) 安全・安心に暮らせるまちづくりの推進」の、「地域全体で福祉、防災、子育て、教育など様々な問題を解決していく」という文章について、さっぱりしている印象を受ける。確実性を持たせるため「様々な問題を『一つずつ』解決していく」という表現にしたほうが良いのではないか。福祉、防災など一口では語れない面がある。

【委員】

言葉の問題として、「市」を表す言葉で『『まち』づくり』、「地域』、「将来『都市』像』、『杜』づくり』など様々な呼び方が出てくる。それぞれどういう趣旨で使っているのか説明が必要ではないか。どこをどう修正せよという意味ではないが。

<第5章 市の将来見通し>

特に意見なし。

<第6章 まちづくりの方向と推進体制>

【委員】

22 ページ「2. 重点プロジェクト」について、第1次総合計画の戦略プランから、第2次総合計画の重点プロジェクトに変化した理由が分かりにくい。伝わりやすい文章にしてもらいたい。

【事務局】

第1次総合計画策定時と今回の策定時の体制が変わっている。第1次では合併直後でゼロからのスタートであったため、基本構想と基本計画の策定を同時進行していた。そのため、基本構想策定の段階で基本計画の内容をある程度掲載できた。しかし、今回は基本構想をまず審議し、その後、基本計画、重点プロジェクトを検討していく。ご指摘の通り、この文章だけでは理解が難しいので修正を検討する。

【委員】

22 ページ「2. 重点プロジェクト」の、「めまぐるしく変化していくこれからの時代」という文章について、12 ページ「1. 人口減少・少子高齢化社会」で記載している内容と合わせて考えると、「めまぐるしく変化している現状」（将来のことではなく現在のこと）としたほうが良いと思う。

【会長】

チェックポイントに沿った審議は以上とする。今まで出た意見についての回答は、次回の審議会で事務局より提示する。また、次回の審議会では基本構想に対する答申案を決定する。

<その他>

【委員】

先ほど事務局からの説明として、総合計画における基本構想は方向性を決めるもので、その後基本計画を作っていくとの話があった。それはそれで問題ないと思うが、先ほどから意見が出ているように、北杜市は人口減少が進行している。加えて、少子高齢化が進んでいる。合併時には 51,000 人いた人口が、先般の国勢調査では 45,000 人まで減少している。北杜市では年間で亡くなる方が 700 名、生まれる方が 200 名で、単純計算では年間 500 人減少している。これはものすごい現象だと認識していただきたい。また、高齢者の割合は全国が 27%に対して北杜市は 37%と、北杜市は全国に比べて高齢化の進行が 20 年進んでいる。これが 50%まで達すると、現役世代の減少に伴い税収が減少し、財政的に負担がかな

り大きくなってしまったため、非常に心配している。一方、地方交付税が平成 27 年から大幅に減少する。また、経常収支比率も現在 87%だが、100%に近づいていく。そのため投資的経費（自由に使えるお金）が減り、義務的経費しか使えなくなる。夕張市のようになってしまう可能性がある。職員にお願いしたいのは、ここで思い切った施策を講じないと、この自治体が消滅する可能性がある。例えば公共施設の統廃合について、今後扶助費が増大していくなかで、現在のようなペースでいいのか。また、コンパクトシティについても、北杜市のような山間部の多い広域な自治体は検討してもよいのではないか。基本構想を策定するにあたって、「思い切ったことをやっているな」という印象を受けるような内容になるよう期待している。

【委員】

基本構想は基本的な考え方をまとめたものであるので、色々な表現があると思うが、一番気になるのは、第 1 次総合計画の結果の分析をしないまま、第 2 次総合計画の策定に進んでいる点である。お願いであるが、第 1 次総合計画を進めた結果、北杜市はどのように変わったという内容を委員に提示してもらいたい。そうすれば基本構想について審議する参考となる。

【事務局】

第 1 次総合計画の検証について、ヒアリングやアンケートなどを実施したうえで基本構想を策定している。検証結果について、基本計画を審議していただく前に審議員の皆様にお示しする予定である。

【委員】

第 1 次総合計画の策定に携わった者であるが、第 1 次総合計画の達成率は高いと認識している。例えば人口に関して、ほぼ計画通りに推移したのではないか。ヒアリングなどの結果については、前回、示されたと思う。先ほどの委員からの意見（人口減少、財政負担増、公共施設の統廃合）はほとんどその通りであるが、そのなかで抜けていた議論として、公共交通の問題がある。高齢化が進むなか、その点についても議論の対象とすべきである。

【委員】

17 ページ「(1) 総人口の推計」に記載がある「移住・定住促進事業」に関して、本日の新聞に北杜市のお試し住宅の記事があり、計画が進んでいるとの印象を受けた。今後ともよろしくお願ひしたい。

【会長】

本日午前中、小説を書くタレントが、各地方自治体をPRするためのプロモーションビデオを作成に来るなど、メディアも北杜市に注目している。この点も基本構想に関連する部分があるのではないかと思う。人口減少の問題はどの自治体にとっても課題であるが、皆様からのご意見をいただきたい。

他に意見がなければ答申案は正副会長で取りまとめさせていただき、次回の審議会に提出したい。

■②その他

【事務局】

今後のスケジュールについて、明日、地域委員会へのヒアリングを実施し、基本構想案への意見を聴取する。また、子育て世代や中学生・高校生へのグループインタビューも実施する。ヒアリング項目については配布資料に添付しているので、他に聞くべき項目があれば意見をいただきたい。

次回の審議会について、本日出された意見を整理して回答させていただく。時期的には8月頃を予定している。

4. 閉会

以 上

署名委員

署名委員
